

富士根北地区

やまぶし ごまだ 村山の山伏と護摩焚き

毎年7月10日のお山開きでは、富士山こうほうじ興法寺・村山浅間神社境内の護摩壇で、山伏が護摩焚きごまだ*1を行います。

平安時代末期、富士山は仏で、山頂に仏が神の姿となって現れると考えられるようになりました。富士山の噴火が収まると、富士山で修行する山伏が現れ、村山を拠点に「山にこもって厳しい修行をすると悟りが開け、不思議な力が得られる」という信仰しゆげん(修験道)を実践するようになりました。

登山シーズンが終わると、山伏は約1ヵ月間、富士山や山麓で富士峰修行を行いました。富士峰修行は、はじめに村山で護摩を焚き、富士山中での修行を終えた後、御殿場や須山方面に下って麓の村で加持祈祷かじきとう*2を行いながら、再び村山に戻って護摩を焚くというものでした。

*1 願いが仏の世界に届くように、護摩木に願いを書いて焚き上げる神事

*2 病気や災難から身を守るために神仏に祈ること



護摩焚き



歩く博物館 Dコース<富士根北地区> 湧き水を活かした産業コース

市役所6階文化課、郷土資料館(文化会館内)、出張所または市公式ウェブサイトなどにあります。

HP トップページ>市民の皆さんへ>教育・文化・スポーツ>郷土資料館>歩く博物館



れいはいせき 杉田の礼拝石

杉田には、村山の山伏が富士峰修行の最中に加持祈祷を行った「礼拝石」があります。

村山浅間神社が発行した富士山の登山案内図「富士山表口真面之図」には、東海道から村山へ向かう道の脇に礼拝石が描かれています。

このことから、礼拝石が登山者にとって、目印としての役割があったことが読み取れます。



▲ 静岡県富士山世界遺産センター蔵



歩く博物館ガイドブック

全24コースの地図と解説付きです。

料 500円

申 市役所6階文化課、埋蔵文化財センターの窓口で

他 郵送で購入したい場合は、電話またはメールでお問い合わせください。

問 文化課 ☎22-1187

✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp

有料
ガイドブック

